

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像
人から信頼され、何事も徹底してやりぬくたくましい子

堺市立 福泉小学校
校長 鶴田 敦

令和7年度 重点目標
○学力の向上、豊かな心の育成、丈夫で健康な体力づくりを行い、児童の自己肯定感と自己有用感を高める。
○一人ひとりの子どもの学習を保障する教育を実現することにより、授業力や生徒指導力を向上させる。
①学力の向上(基礎学力向上・教科学力向上) ②豊かな心の育成(「いじめ」や「差別のない」集団づくり) ③健やかな体の育成(体力の向上と健康的な生活習慣) ④基礎的環境整備

確かな学びの現状
昨年度、「学びのコンパス」を加味した授業スタイルの構築を図った。堺市学調(IRT調査)平均正答率結果、4年生(平均53.5%)5年生(平均52.2%)6年生(平均48.0%)という結果だった。全国学力テスト(6年生)の結果は堺市平均を下回ったが、5年時に比べ向上が見られた。また、学校アンケート「授業が分かりやすく、勉強ができるようになった」と肯定的に答えた児童は89.1%である。基礎・基本の徹底を図るとともに、今年度から始める「堺市学びのコンパス」を加味した授業の確立をめざす。
豊かな心・健やかな体の現状
昨年度の学校評価アンケートで、86.3%の児童が「学校へ行くのが楽しい」と肯定的に答えた。『命を大切にすることや、「いじめ」をしてはいけないことを教えてもらっている』と答えた児童は、94.1%であった。また、「体育の授業で体を動かすことは楽しい」が89.4%、「体育の時間で運動が上手になった」が86.2%の児童が肯定的に答えた。

Table with 10 columns: 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末), 自己評価, 学校関係者評価. Rows include: 基礎学力向上, 確かな学力向上, 家庭学習, 心の教育, いじめ防止, 体力向上, 教育環境整備.

校長より(年度末)
・本年度、何よりも重要視して行った取組は学習環境の整備であった。具体的には、教室の床に落とし物が少ない、掃除がしっかりとされているなど、どの教室でもどの学級でもできることを繰り返し伝え続けた。学習環境の整備は子どもたちの学びに大きな影響を与えるため、今後も継続していく。
・「書くこと」について意識づける授業展開を行ってきた。学習はインプットも大切であるが、学んだことをアウトプットすることで自分のものにすることができると考える。「書くこと」だけでなく「語る」と、「行動すること」も含め、子どもたちが自分の考えや想いを表現できるよう、取組を実践していく。
・自分も他者も大切にする人権教育と道徳教育を推進し、いじめ等生徒指導上の課題の未然防止に努めながら、子ども一人ひとりが人権感覚や道徳心を身につけられるよう、引き続き取組を実践していく。
学校関係者評価者から(年度末)
・学習環境の整備は、子どもたちの学びの場として大事なことで感じています。地域の住民としては、通学路の整備(清掃や安全)には常に関心を抱いております。成長過程の子どもたちに道徳心を養うことにもつながると感じています。
・学習指導において、全員が同じゴールに到達するのは難しい。個別最適な学びに向けてどのような取組を実施していくのか、これからの学校教育活動に期待しています。
・環境整備は何をするにも大切だと思います。これからも向上していくことを願っております。
・毎日楽しい学校に通い、学んでいる福泉っ子。これからも体力づくりに勉強にとたくさん体験をして育っていくことを期待いたします。